



メディカルシステム科
総合福祉科
看護学科基礎課程・専門課程
普通科文理コース
普通科特進コース | 類・II類

文化祭

彩

新たな時代を一步ずつ



令和4年度文化祭が10月28日、29日の2日間で開催された。コロナウイルス感染症対策として、今年度も生徒・職員のみでの実施で制限のある中ではあったが、各クラス・団体が工夫を凝らした作品展示や模擬店、ステージ発表に取り組み、校内は明るい声と笑顔にあふれた。

1日目のステージ部門では、各クラスや部活動等で練習を重ねてきた合唱やダンス、演奏や手話などが披露され、会場は感動の拍手に包まれた。2日目の展示・模擬店部門では、フोटospaceや謎解きゲームなど、アイデアにあふれたスポットが校内あちこちに設けられ、多くの生徒が楽しんだ。また生徒会企画のスタンプラリーも盛り上がりを見せ、生徒一人一人の思い出に残る2日間となった。



文化祭での看護学科・総合福祉科の取り組みを紹介します!

看護学科

知ってる? LGBTQのこと

南さつま飛びたて高校生事業のひとつとして、「ちょっと聞いて聴いて!LGBTQと認知症のこと」を今年度から3年間継続して取り組む。

「生徒のやりたいことをカタチに」をモットーに、LGBTQや認知症について正しい知識を普及する活動を行い、実際に悩む人との関わり方について考える“キッカケ”作りを目的にしている。

文化祭では、LGBTQ啓発活動として、生徒が制作したオリジナル動画が流され、アンブレラスカイが学校の廊下を彩った。展示した傘はレインボーフラッグの6色。レインボーフラッグは、さまざまなセクシュアリティの尊厳、そして多様性を表すシンボルである。今後は、小中学生に向けた「多様性に関する授業」を展開していく。より多くの“キッカケ”を作っていく予定だ。



稲吉 茶章さん(看護学科基礎課程2年・沖縄県 普天間中学校出身)

「短い時間でもわかりやすくLGBTQについて知ってもらおうと動画を制作しました。出演してくださった先生方やメンバーの協力のおかげで、完成させることができました。誰が見ても分かるように様々な角度から立体的に撮り、人物の設定(髪型や服装等)を変えないように意識しながら進めていきました。文化祭で動画を見てもらい、多くの生徒がLGBTQに対して偏見を持つよりも、多様性に理解を示していることに驚きました。今後は学外での活動も始まります。より多くの人に多様性について考えてもらえるように頑張りたいです。」

総合福祉科

17名の想い 指先に込めて

文化祭1日目、ステージ発表のトリを飾ったのは、総合福祉科3年生の手話ソング。

21年前から毎年3年生の取り組みとして文化祭で披露しており、今年で22回目。1月

に国家試験を控え、これまでお世話になった方々への感謝と全員合格の想いを込め、3年間の集大成としての発表となる。生徒たちは、歌詞を手話に変換するところから、すべて自分たちで取り組む。言葉に合った適切な手話に変換する作業と、リズムに乗せて手話を行うことに苦戦しながらも、短い期間で一つの作品を作り上げた。

文化祭当日1週間前までは施設での実習のため、全員揃って練習ができたのは、わずか数日間であったが、3曲を心をこめて熟演した。総合福祉科の伝統行事ともなっている手話ソング。今年も観客に感動を与え、会場からは盛大な拍手が沸き起こった。



峠坂 真都里さん(総合福祉科3年・枕崎中出身)

「実習明けの短期間で仕上げるのは大変でしたが、クラス全員で協力し、何とか文化祭までに仕上げることができました。本番はとても緊張しましたが、歌詞が届くよう心を込めて手話することができました。発表後には、多くの方から『国家試験がんばれ!』と声をかけていただき、涙が出るほど嬉しく、私たちにとって最高の時間となりました。1月の国家試験に向け、クラス全員で協力し、先生方にサポートしてもらいながら全員合格できるよう頑張りますので、応援よろしくお願いします。」

新生徒会執行委員決定

9月10日、任期満了に伴う生徒会執行委員改選が行われた。今年度もコロナウイルス対策として、演説は校内放送によって実施され、各立候補者の名前等が確認できる紹介スライドが各クラスに配信された。生徒たちは各教室で候補者の言葉に真剣に耳を傾け、その後の投票に臨んだ。



開票の結果、新生徒会長に選出された菊永拓人さん(普通科文理コース1年・知覧中出身)は、「とても楽しい1年が始まる予感がしています。皆さんの協力を頂きながらいろいろなことに挑戦していきたい」と語った。選出された執行委員メンバー15名で新たな風を鳳凰高校に吹き入れてくれることを大いに期待したい。

会 長	菊永 拓人	普通科文理コース1年
副 会 長	有馬 愛衣	普通科文理コース1年
副 会 長	大道 世奈	看護学科基礎課程2年
書 記	長野 華	看護学科基礎課程2年
書 記	朝崎 良夢	看護学科基礎課程2年
会 計	西前 海来	メディカルシステム科1年
会 計	竹内 瀬那	普通科文理コース1年
文 化 部 長	稲吉 茶章	看護学科基礎課程2年
文化部副部長	諏訪下 海翔	総合福祉科2年
文化 部 補 佐	神田 杏子	看護学科基礎課程1年
体 育 部 長	茶園 陸	看護学科基礎課程2年
体育部副部長	宮崎 将吏	看護学科基礎課程2年
体 育 部 補 佐	田中 李乙	看護学科基礎課程1年
風 紀 部 長	興梠 彩夏	看護学科基礎課程2年
風紀部副部長	重井 柚梨恵	メディカルシステム科2年



地域の活動で成長する生徒の姿

～南さつま市ブランディング事業～

南さつま市ではかごしま深海魚研究会による鹿児島県の深海魚を広める産地形成・ブランディング事業が行われている。将来、消費者になる世代向けに深海魚に親しんでもらうために企画されたものである。昨年度に引き続き、本校の看護学科専門課程生と普通科の生徒が「旨魚(うまいよ)南さつま」に参加した。全3回構成で座学・取材・体験・イベントスタッフなど多岐にわたる活動を通して、生徒たちは学びを深めて成長したようだった。

第1回 8月25日 ブランディング勉強会

- ・(株)Table of Smileの杉水流様の講義で「ブランディングとは何か?」を学ぶ
- ・実際に深海魚に触れてみる



- 「海や魚のために自分でもできることがあるとわかって良かった。」
西 慶一郎さん(普通科文理コース2年・額田中出身)

第2回 10月7日 取材活動のために漁港へ

- ・野間池漁港で地元の水産業者と懇談
- ・鹿児島大学水産学部の大富潤教授の講義



- 「船の中の様子など初めてみるものがたくさんあって、興味が湧いた。」
下八重 梅花さん(普通科文理コース2年・加世田中出身)
- 「魚を食べる人が減っている現状など初めて知ること多かった。」
佛淵 壮志さん(普通科文理コース1年・立神中出身)

第3回 11月6日 イベント当日 スタッフとして参加

- ・深海魚をつかった野間池漁港のイベント来場者に海をテーマにしたワークショップを行う
- ・親子連れ向けにクイズや折り紙、塗り絵を企画



- 「来場者のみなさんととにかく楽しませることを目標にがんばった。」
川上 真央さん(看護学科専門課程2年・沖縄県 具志川東中出身)
- 「看護学生としては、いろいろな年代の方と関わってコミュニケーションをとることを学ぶ良い機会になった。」
永谷 琉璃さん(看護学科専門課程2年・宮崎県 岡富中出身)



2年続けて参加している
濱弓場 瑚子さん
(普通科特進コースI類 3年・坊津学園中出身)

Q感想を教えてください。

この事業に参加したことで、深海魚についての話題が目に残るようになりました。また、深海魚をおいしく食べられるということがメディアでも取り上げられるようになり、世間に浸透してきたと実感しています。

Q参加してよかったことはありましたか。

フードコーディネーター1級の資格を持っている方のお話を聞くことができました。「魚」を扱うといってもいろいろな関わり方があると知り、進路選択の参考になりました。

Q. 今後、やりたいことはなんですか。

卒業後は、運営側として南さつま市の取り組みに関わってみたいです。また、今回の事業で学んだことを生かして深海魚以外の食品でもブランディングにチャレンジしていきたいと考えています。

Q最後に一言。

深海魚は本当においしいです!ぜひ食べてみてください!

部活動大会結果報告

県高校新人大会

●女子テニス部

【団体戦】 **優勝**
準決勝：鳳凰 3-0 武岡台
決 勝：鳳凰 3-0 鹿児島純心女子

九州大会出場決定

【個人シングルス】
優勝 岡村 凜那(普通科特進I類2年)
3位 片山 沙咲(普通科特進II類2年)

【個人ダブルス】
優勝 岡村 凜那(普通科特進I類2年)
前橋 莉音(普通科特進II類2年)
準優勝 片山 沙咲(普通科特進II類2年)
隈元 にご(普通科特進II類1年)
3位 最上川 奈緒(普通科特進II類2年)
前橋 美憂(普通科特進II類1年)

●男子テニス部

【団体戦】 **優勝**
準決勝：鳳凰 5-0 鶴丸
決 勝：鳳凰 3-0 鹿児島実業

九州大会出場決定

【個人シングルス】
優勝 石橋 侑依(普通科特進II類2年)
準優勝 井上 温仁(普通科特進II類1年)
3位 吉武 真輝(普通科特進II類1年)
浦川 慎太郎(普通科特進II類1年)

【個人ダブルス】
優勝 吉武 真輝(普通科特進II類1年)
児島 龍太郎(普通科特進I類1年)
準優勝 石橋 侑依(普通科特進II類2年)
浦川 慎太郎(普通科特進II類1年)
3位 嶽村 柊太(普通科特進II類2年)
小林 晃太郎(普通科特進II類2年)

九州大会

●女子テニス部

【団体戦】 **準優勝**
準決勝：鳳凰 3-1 第一薬科
決 勝：鳳凰 2-3 宮崎商業

全国大会出場決定

●男子テニス部

【団体戦】 3位
準決勝：鳳凰 0-3 柳川
3位決定戦：鳳凰 3-1 沖縄商学

全国大会出場決定

全九州新人陸上大会

●駅伝部

【女子5000mW】
6位 櫻井 ひなた(看護学科基礎課程2年)

【女子1500m】
8位 宮内 結愛(メディカルシステム科2年)

【女子3000m】
3位 宮内 結愛(メディカルシステム科2年)

県高校揮毫大会

●書道部

【翰墨銀賞】
範原 愛珠(看護学科基礎課程3年)

合唱部と書道部がコラボ!!

令和4年度加世田地域文化祭が3年ぶりに開催された。本校からは作品展示に写真同好会が出展、芸能発表に合唱部が出演し、イベントを盛り上げた。

今回は主催の加世田文化協会の創立50周年記念祝賀会が同時開催され、オープニングセレモニーに本校の合唱部と書道部が出演した。「明日へ未来へ」をテーマに地域の子どもたちが演じる中で、合唱部の歌に合わせて書道部が書道パフォーマンスを披露した。両部活動がコラボレーションするのは初の試みで、部員たちも新鮮な気持ちでステージに臨んだ。

書道部の部員は「テンポを合唱部の歌に合わせてるのは初めてだったけど結果的に大成功してよかった。またコラボしたい」と話しており、生の合唱に合わせてパフォーマンスする難しさを実感したようだ。

合唱部の部員は「自分たちの歌で書道部がパフォーマンスを進めるので、途中で失敗できないという緊張感を持つことができた」と話しており、お互いに良い刺激となったようだ。

来年度、鹿児島県で開催予定の全国高等学校総合文化祭に向けてこれからますます活躍するであろう文化部に今後も注目したい。



専門課程2年生 在宅医療について考える

10月30日に枕崎市民会館でホスピタリティ晴RUYA主催の市民講座が行われ、専門課程2年生の寮生92名が参加した。



本校の卒業生である田淵晴美さんの「家で『生きたい』を支える訪問看護」をテーマとした講演に熱心に耳を傾けた。田淵さんはメッセンジャーナースとして枕崎市でホスピタリティ晴RUYAを運営。メッセンジャーナースとは医療の受け手が自分らしい生を全うする治療・生き方の選択を迫られた時に、医療の受け手に生じる心理的・肉体的葛藤をそのまま認め、医療の担い手との認識のズレを正す対話を重視し、医療の受け手自ら選択・納得に至るまでの懸け橋になる看護師である。

講演を聴いた生徒は、「近年、看護師国家試験においても出題が増えつつある在宅医療に関わる貴重な内容で、その実際を具体的な事例を通して学ぶことができた。また、実際に自宅で家族の看取りを経験された方の体験談を聞き、固い覚悟や家族愛の温かさに心を打たれた」と語った。

生徒たちは、改めて看護師という仕事の尊さを認識し、来る国家試験へ向けて決意を新たにしようだった。

“M'マガ2023”に 乞うご期待!

《南さつま飛びたて高校生事業》のひとつの取り組みとして、メディアシステム科が手掛ける“フリーマガジンM'マガ”が今年度も制作されており、今まさに活動が行われている真っ最中だ。この“M'マガ”制作は、南さつま市の魅力を多くの方に知ってもらいたいという思いをきっかけにスタートしたもので、取材・撮影・編集を約20名の「M'マガライター」がすべて行う。関わる生徒たちに感想を聞くと、「地域の方々と関わる中で社会性を身に付けることができる」「普段の授業では体験できない多くの学びがある」と語ってくれた。2月の発行を目標に、生徒たちは、放課後や休日の時間を使い、見る人に笑顔になってもらえるよう細かい部分まで工夫を凝らしている。



「17期全員絶対合格」～国家試験へ向けて～

11月12日、看護学科専門課程2年生の看護師国家試験激励会が本校武道館で行われた。

専門課程2年生は10月に病院での実習を終え、11月からは令和5年2月12日に実施される看護師国家試験に向けて集中的に試験勉強に取り組む。

校長をはじめ、高校生時に指導にあたった教員も参加し、激励の言葉を送った。



式の最後には17期生のスローガンである

戮力協心 夢のその続きへ
たどりついた先に栄光がある
超えてやります 飛躍の年

第112回看護師国家試験 全員合格します

を唱え、士気を高め合った。



生徒代表挨拶
川島 和歩さん
(看護学科専門課程2年
滋賀県 瀬田北中出身)

「今までつらいことがたくさんありました。寮では様々な制限があり、自宅のように全てが自由というわけではありません。慣れない環境での暮らしに追い打ちをかけるようにコロナウイルスの感染拡大によりさらに制限の加わる日々でした。また、実習でのつらさから、「はたして看護師になれるのだろうか」と不安に感じることもありました。そんなとき支えてくれたのは、同じ環境で過ごす仲間たちや、優しく時に厳しい先生方、家族の存在です。多くの人に支えられ、ここまで来ることができました。

本当にありがとうございます。

5年前、入学時に途方もなく遠く感じた国家試験まで、あと92日。プレッシャーを感じることもあります。

しかし、国家試験は通過点です。全員で合格しましょう!!

